

糖尿病重症化予防対象者に通知が届きます

糖尿病は、心筋梗塞や脳卒中のリスクを高め、腎症、網膜症、神経障害などの合併症にかかると日常生活に大きな影響を及ぼします。

糖尿病になっても生活の質を維持するためには、糖尿病の早期発見と継続的な治療、食事や運動面での生活習慣の改善が重要です。

糖尿病の初期は自覚症状が出にくいいため、気がつかない間に重症化することがあります。

このため、市では、特定健診データや医療機関受診状況を確認して、糖尿病の治療が必要なかたや治療を中断したかたへ医療機関受診についてのお知らせや電話連絡をしています。

市が委託している民間業者から通知や電話連絡があった場合は、早めに受診してください。

問合せ 保険年金課 国民健康保険担当 内線142～144

男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいます

～だれもが 自分らしく輝けるまち しらおかをめざして～

市では、全ての人が性別に関わりなく尊重され、自らの意思によってあらゆる分野で活躍し、豊かな人生を送ることができる男女共同参画社会の実現に向けて、第4次白岡市男女共同参画プランに基づいたさまざまな取組を行っています。

令和2年度の取組の一部を紹介します。

基本目標1 男女共同参画の意識づくり

- 男女共生広報紙「ハーブティ」を発行し、男女共同参画に関する情報をわかりやすく発信しました。また、啓発のためのパネル展を開催し、男女平等意識の浸透と定着を図りました。
- 個性を生かして男女が平等の立場で学び合えるよう、白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクトや人権教育を実施しました。
- 市職員、教職員対象の人権研修や各小・中学校の家庭教育学級において講座を開催しました。

基本目標2 男女がともに役割を担い、健康に暮らせるまちづくり

- 男性の育児参加を促進するため、両親学級、育児相談を実施しました。
- 性的少数者の人々へ配慮して、各種申請書などの性別欄の見直しの実施状況について調査しました。
- 市民の主体的な健康づくりを推進するため、健康・栄養相談、ヘルスアップ運動教室を実施しました。

基本目標3 一人ひとりが活躍するための環境づくり

- 本プランは、「女性の活躍推進計画」でもあります。
- ハローワーク求人情報サービスを活用し、毎日更新される求人情報を求職者に提供しました。
- 女性の起業・就労支援セミナーを開催しました。
- 「女性の相談室」において、一時保育が必要な女性が相談を受けられるよう保育サービスを実施しました。
- 地域活動などを学ぶ講座などを開催しました。

- 審議会や委員会などの組織で女性の意見も反映されるよう、女性の登用・参画率30%を目標に、委員の委嘱替えの際に女性を委員として登用するよう全庁で取り組みました。

※女性の登用・参画率

平成30年度	27.5%
令和元年度	27.7%
令和2年度	27.7%
令和3年度	26.7%

基本目標4 男女の人権を守る体制づくり

本プランは「DV防止基本計画」でもあります。

- 暴力の被害者である女性が安心して暮らせるよう「女性の相談室」を毎月2回開設しました。
- DV防止パネル展の実施や、恋人同士など親密な関係にある若者の間で起こる暴力行為である「デートDV」についての啓発カードを新成人に配布しました。
- 女性に対する暴力をなくすため、埼玉県が行っているパープルリボンタペストリー巡回事業に参加しました。市役所1階にタペストリーを展示し、パープルリボンキャンペーンを実施しました。
- 地域包括支援センターを中心に高齢者虐待相談などを実施しました。

基本目標5 計画推進の体制づくり

- 第4次プランの推進についての提言などをいただく、しらおか男女共同参画推進会議や女性政策庁内推進会議を開催しました。
- 協働を担う市民団体への支援として、先導的な協働のまちづくりモデル事業に対して補助を行いました。
- 市職員の女性活躍関連研修の参加や育児休業などの取得のための環境整備に努めました。

問合せ 地域振興課人権担当 内線385